



제100회 전국체육대회

The 100th National Sports festival



在日同胞選手団

第100回

韓国国体・ソウル大会

記録 & 写真
報告集



재일본대한체육회
在日本大韓体育会
KOREA SPORTS COUNCIL IN JAPAN



제100회 전국체육대회

The 100th National Sports festival

第 100 回 全国体育大会 在日同胞選手団 報告集 目次



●在日同胞選手団 派遣概要	3
●在日同胞選手団 名单	
◇引率団、顧問団、本部職員	4
◇選手団	5
●在日同胞選手団 活動記録	
◇海外同胞選手団 順位表	6
◇結団式	7
◇開会式	9
◇競技報告 サッカー、テニス、剣道	10
◇競技報告 ゴルフ、テコンド	11
◇競技報告 ボウリング、柔道、ラグビー	12
◇競技報告 卓球、スカッシュ	13
◇閉会式	14
●参加者感想文	15
●総合記録	18
●歴代参加記録	21
●国体賛助金、体育会年会費、協賛広告	24

◇大会概要

期 間：2019年10月4日(金)～10月10日(木) 7日間

※選手団出発は2日(水)

場 所：ソウル市一円

主 催：大韓体育会

主 管：ソウル市、ソウル市教育庁、ソウル市体育会

◇在日同胞選手団 派遣人数

選 手 団：114名(サッカー、テニス、水泳、柔道等、全14種目)

本部役員：18名(引率団長団、総監督、本部役員等)

参 観 団：75名(民団幹部、顧問、本会役員、選手父兄等)

◇派遣種目(11種目)

海外同胞種目：テニス、サッカー、ボウリング、ゴルフ、卓球、スカッシュ、テコンド、剣道

国内競技種目：柔道、水泳

強化試合種目：ラグビー

◇在日同胞選手団 公式日程

10月02日(水) 日本各地より金浦・仁川空港集合。陸路、ホテルへ

10月03日(木) 宿泊ホテルで在日同胞選手団・結団式

10月04日(金) 第100回全国体育大会 開会式(蚕室競技場)

10月04～10/10 各競技場で種目別競技に参加

10月07日(月) 大韓体育会会長主催 晩餐会

10月08日(火) 朴元淳市長主催 海外同胞 晩餐会

10月10日(木) 第100回全国体育大会 閉会式(蚕室競技場)

◇選手団・引率団宿舎

ノホテルアンバサダーソウル龍山

イビススタイルアンバサダー龍山

◇公式エアライン

大韓航空 

◎引率団長

吳公太 民団中央本部 常任顧問

◎副団長

韓賢澤 民団中央本部 副議長
任泰洙 民団中央本部 副団長
金利中 民団中央本部 副団長
陳賢德 在日世界韓人商工人連合会 監事
李亨培 ソウル・京畿道道民会 会長

◎総監督

許孟道 民団中央本部 常任顧問

◎顧問団 (各級組織)

朴安淳 梁東一 金光一 吳龍夫 李寿源 吳永錫 張姬淑 高惠子 金志媛
權清志 金龍洙 鄭研吉 河政男 金 真 金秀男 金美恵子 金恵慶 曹雪雅

◎顧問団 (体育会)

朴賛重 宋基泰 鄭利光 金昭夫 孫京翼 朴茂安 宋栄奉 丁廣鎮 大松秀一
崔 潤 孫栄泰 金永浩 権五雄 権五明 金尚弘 文京一 金哲一 車龍和
金浩史 尹明遠 金一波 金英明 李根錫 康聖熙 許哲中 南野英子 朴奉子
金貞子 宋武夫 金順英 河文注 韓武聖 千葉哲哉 朴泰成 趙晃大 金良昌
任隆二 申 実

◎本部職員

事務局長 趙靖芳 在日本大韓体育会 専務理事
渉 外 李東洙 在日本大韓体育会 業務支援チーフ長
競 技 鄭昇栄 在日韓国青年会中央本部 会長
競 技 洪性郁 在日韓国青年会中央本部 総務部長
財 務 金明希 在日本大韓体育会 総務
総 務 朴美愛 在日本大韓体育会中北本部 専務理事
航 空 安有恒 在日本大韓体育会関西本部 監事
報 道 鄭真一 民団新聞 編集長
現地スタッフ 安書準 全辰隆

◎サッカー

監 督 慎未有／コーチ 土屋征夫 安玄太／主 務 姜香那
選 手 康胤二 文泰樹 文康新 康 翔 沈修輔 金龍哉 金竜大 趙陽新
金康太 李明賢 金朝太 権天人 緑 悟 金昇毅 金太陽

◎テニス

監 督 申永吉／コーチ 成正幸
選 手 韓成民 成耀韓 鄭直喜 崔菜月 尹栄湖

◎ボウリング

監 督 張智成／コーチ 李炯玟
選 手 韓新悟 宋在豪 金学均 姜直樹 吳亨錫 鄭熙燮
金賢淑 韓 瞳 張裕子 黄聖姫 朴祥子 李裕海

◎ゴルフ

監 督 許政安／コーチ 南 茂 申昌俊
選 手 金晴朗 田修成 姜智賢 姜美咲

◎スカッシュ

監 督 李点順／コーチ 高橋朋之
選 手 李閒鏞 徐華

◎卓 球

監 督 李信子
選 手 梁慶地 李 仙

◎テコンド

総監督 高準光／男子監督 金漢老／女子監督 姜炫淳／コーチ 金範錫
選 手 張大輝 姜享來 金秀範 金信優 姜智奈 姜智蓮 姜智海

◎剣 道

監 督 金文達／コーチ 孫栄泰
選 手 高橋忠志 河文龍 永川琳久 工藤勝英 金明燮 金希妍

◎水 泳

監 督 金一波／コーチ 金玟錫／選 手 劉政頻

◎柔 道

監 督 梁英守／コーチ 吳世鎮／選 手 小川晟矢 梁智瑛

◎ラグビー

監 督 吳英吉／コーチ 姜宗卓／トレーナー 権英秀／レフェリー 下村大樹
選 手 李承記 柳紀行 金大毅 牛島英人 梁仁照 申賢志 金正太 蔡隆志
朴建榮 黄泰斗 李昇基 申永太 李翔太 白隆周 古田大晟 藤井延卓
沈祥健 高未来 金志大 高陽日 鄭幹太 金一徹 李 翔 國本茂孝

海外同胞部門 総合準優勝



順位	国家名	金	銀	銅	総計
1	米 国	7	9	5	21
2	日 本	5	6	12	23
3	インドネシア	5	5	5	15
4	中 国	5	2	4	11
5	フィリピン	3	2	3	8
6	豪 州	3	2	2	7
7	カナダ	2	-	2	4
8	ニュージーランド	1	2	5	8
9	香 港	1	1	3	5
10	グアム	1	1	1	3
11	マレーシア	-	2	1	3
12	ドイツ	-	1	-	1
13	サイパン	-	-	3	3
14	スペイン	-	-	1	1
15	ベトナム	-	-	1	1
16	ブラジル	-	-	-	-
16	アルゼンチン	-	-	-	-
16	英 国	-	-	-	-
合計		33	33	48	114

在日同胞選手団 結団式

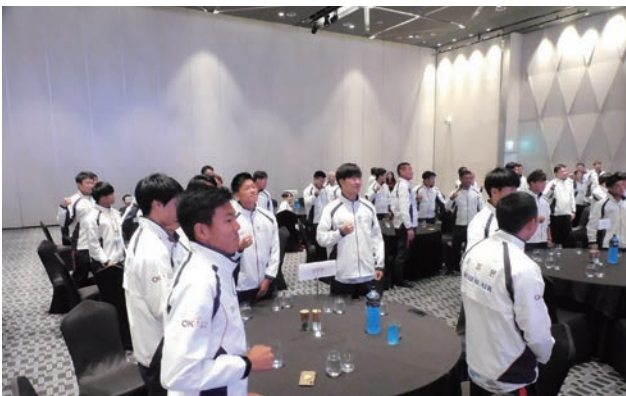
開会式に先立って行われた結団式には、国民体育振興公団の趙在基理事長をはじめ、各級組織幹部、元駐日大使なども選手団の激励に駆けつけ、約 250 名が参加した。



開会辞で 8 連覇を誓う呉公太引率団長



選手団を激励する KSPO の趙在基理事長



総合優勝を誓う選手たち



サッカーは崔会長に記念ユニホームを伝達



新韓銀行や OK 貯蓄銀行から選手団に激励金が伝達された





結団式には申珥秀、李俊揆元駐日大使も参加し選手団を激励した



演武を披露するテコンド選手たち

選手団の健闘を祈り激励する許孟道総監督



全国各地から集まった各競技の選手たち

第 100 回 全国体育大会 開会式

88 ソウル五輪が行われた蚕室競技場で5万人の大歓声の中入場行進する在日同胞選手団
開会式には文在寅大統領、朴元淳ソウル市長、李起興大韓体育会会長などが参席した。



旗手を務めた李亨培引率副団長



観客に手を振り入場行進する在日同胞選手団



大会が始まり胸が高鳴る選手達



選手団を出迎える文在寅大統領



注目された聖火ランナーは
サッカー界の英雄・朴智星が務めた

サッカー 最強チームも抽選に泣き 4 強ならず



優勝奪還を狙うサッカーは大会 2 日目に在日カナダ同胞との初戦を 3-0 で快勝し、白星発進した。翌日の第 2 戦、在ドイツ同胞にも 3-2 で押し切り、勝ち点 6 とし、準決勝進出と思われた。

しかし、同組の在フィリピンも在カナダ同胞に勝利し勝ち点 6 で並んだ。この場合、警告・退場数に基づいて計算されるフェアプレー・ポイントで順位を決めるが両チームとも警告・退場無しのため、抽選の結果、在日同胞がグループ 2 位となり、準決勝進出を逸した。

テニス

豪雨による試合形式の変更がひびきペースつかめず

金メダルが有望だったテニスは 5 ～ 6 日の予選ラウンドで男女シングルス、ダブルスとも、順調に勝ち上がり準決勝に進出したが、決勝ラウンドの 7 日、豪雨のため試合会場がソウルから龍仁に変更。試合形式も短縮ルールとなった。

このアクシデントで在日同胞はペースがつかめず、男子シングルの成耀韓、女子シングルの崔菜月、男子ダブルス（成耀韓、韓成珉）がそれぞれ準決勝で敗退し銅メダルに終わった。女子ダブルス（崔菜月、尹榮淑）は決勝に進出したが在米国同胞に敗退し銀メダルにとどまった。



剣 道

今大会から正式種目で初参加



今年から海外同胞の部の新種目に加わった剣道は、5 人対 5 人による団体戦で競技が行われた。

大学生や社会人の選手で構成した在日同胞チームは、初戦でいきなり優勝候補の在米国同胞と激突。選手一丸となって、健闘するも 1-3 で敗退した。

初の正式種目での参加を経験した在日剣道会のメンバーは「在米は在豪など、過去に韓国で活躍した選手で構成しており非常に手ごわい。このままでは来年も勝つのは困難なので、在日の優秀な選手を集めたい」と、来年への抱負を語った。

ゴルフ

最終日の女子団体、姜智賢選手が驚異の 66 で大逆転の金メダル



海外同胞の部総合、8連覇をめざしていた在日同胞は、最終日のゴルフ前までの金メダルは4個。総合成績は4位で、表彰台さえも危ぶまれていた。

しかし、最後の種目、ゴルフの男女が奮起した。トップを4打差で迎えた女子団体は最終日に姜美咲、姜智賢組が快進撃を見せ、逆転で金メダルを獲得した。男子団体も前半のラウンドで1位に3打差と追いかけて、逆転の勢いを見せ、最終的に銀メダルを獲得した。

この結果、金メダル数は米国が7個と首位に立ち総合優勝、在日、在インドネシア、在中国がいずれも5個で並んだが、在日同胞は銀メダル獲得が在インドネシアよりも1個勝り、2位が確定した。まさにゴルフの最終日の大逆転で在日同胞の表彰台を確定させる大活躍であった。

テコンド

全選手がメダル獲得の大活躍

テコンドに在日同胞は男女8種目中、7種目にエントリーし、金メダル3、銀2、銅2と全員がメダルを獲得した。

金メダルは金秀範（男子80kg級）、姜智奈（女子49kg級）、姜智海（女子67kg級）、銀メダルは姜亨来（男子68kg級）、金信優（男子80kg超級）、銅メダルが趙大輝（男子58kg級）、姜智蓮（女子57kg級）。

姜兄弟姉妹4人は幼少期からテコンドの師範でもある父から手ほどきを受けており、全員がメダルを獲得した。

近年、テコンドは在インドネシアやマレーシアなど東南アジアの同胞の著しい躍進が際立ち、在日同胞チームは女子でメダルを取ることができずにいた。しかし、今大会では見事に女子で2個の金メダルを獲得し、総合準優勝の原動力となる活躍をみせてくれた。



テコンド選手を激励する引率団



ボウリング

呉亨錫が男子マスタースで銀も、遠かった金メダル



5日から9日まで各種目が行われたボウリングは金メダルこそなかったものの、4日間の個人記録ベスト10の王者を選ぶマスタース男子で呉亨錫が銀メダルを獲得した。

9日に行われた同競技は10ゲーム合計点と勝利ボーナスポイントで競うが、6ゲームを終え、首位に185点差だった呉が後半4ゲームで猛反撃を見せ、最後は26点差まで追いついて2位に浮上した。

このほか、女子2人戦（金賢淑、韓瞳）、男子3人戦（呉亨錫、宋在豪、鄭熙燮）、女子3人組戦（金賢淑、韓瞳、黄聖姫）、男子5人戦（呉亨錫、宋在豪、鄭熙燮、韓新悟、金学均、姜直樹）がそれぞれ銅メダルとした。

柔道

少数精鋭で望むも無念の初戦敗退

柔道女子大学70kg級には、今年6月の韓国ジュニア選手権で優勝した梁智瑛（19・武庫川女子大2年＝写真）が出場。初戦、慎重に試合を運びすぎたのか、指導を3回受け、反則負けとなり、メダルを逃した。

一般男子81kg級の小川晟矢（18・奈良県）も1回戦、技ありのポイント差で敗退した。

今大会の柔道は、昨年の金メダリストの許海実と金知秀がジュニア世界選手権のため欠場となったこともあり、少数精鋭で望んだが、惜しくもメダル獲得はならなかった。



ラグビー

高麗大・慶熙大に連勝し実力を見せる



4年連続の参加となった在日同胞選抜チームは、高麗大、慶熙大と2試合の強化試合を行った。

初戦では高麗大学と対戦。前半は韓国の強豪である高麗大のパワーに圧倒され大差をつけられたが、後半に入り、徐々に攻守のバランスが好転し、48 - 38で逆転勝ちした。

2試合目は国体の京畿道代表でもある慶熙大学と対戦。国体会場で行われた試合は序盤から白熱し、一進一退の攻防を繰り広げるも、在日チームが34 - 26で接戦をものにした。

ラグビーは来年度より本大会への出場を目指している。

卓 球

前回王者の李仙、連覇逸す

昨年の大会で金2個の成績を収めた女子代表の李仙は、元韓国代表であり、アジア選手権、全日本マスターズ優勝の実績を誇っている。

男子も昨年に引き続き、関西の社会人リーグで活躍する梁慶地を派遣し、必勝態勢で大会に臨んだ。

女子の李仙は今大会でも決勝に進んだが、成長著しい中国同胞の若い選手に敗れ惜しくも銀メダル。男子の梁慶地選手も準決勝敗退となった。

最終種目となった男女混合ダブルでは、見事なチームワークを発揮し勝ち進むも、準決勝で宿敵の中国と対戦。二人で力を合わせて奮闘するも破れてしまい、惜しくも銅メダルにとどまった。



スカッシュ

徐華瑛が2年ぶり金メダル



スカッシュは全日本ランキングでも上位に入る徐華瑛選手が2年ぶりに復帰。男子は昨年初出場した李閔鏞が参加した。

男子は李閔鏞が順調に勝ち進むも、準々決勝で強豪のカナダ同胞に敗退した。

女子の徐華瑛は初戦から圧倒的な実力差を見せつけ、危なげなく2年ぶりに金メダルを獲得した。この金メダルが今回の在日同胞選手団の金メダル第1号となった。

スカッシュ競技は、年々他国の選手が力をつけており、在日

がメダルを獲得するのが難しくなっている。また、在日の選手発掘も難しく、様々な課題が残る。

今後も、各協会と連携を取り、優秀な選手の発掘に取り組んでいく。

第 100 回 全国体育大会 閉会式

156 名の選手団を引率した呉公太引率団長は激戦の末に金 5、銀 6、銅 12 のメダルを獲得し、
18 カ国の海外同胞で競う「海外同胞の部」で総合準優勝となった



準優勝杯を高々と掲げる呉公太引率団長



各道・海外同胞の選手団が旗手を先頭に入場



大歓声に迎えられ、閉会式に参加した在日同胞選手団



大会の終わりを告げる花火が打ちあがる



次回 101 回大会が開催される亀尾市を管轄する
慶尚北道の李喆雨知事に大会旗が伝達された

◆張智成 (ボウリング監督)

国体参加にあたり、崔相英会長並びに役員、顧問、事務局の皆様方に感謝申し上げます。

また、呉公太引率団長をはじめとする引率団役員の皆様、本当に有難うございました。在日同胞連覇が途切れ、この結果には大きな責任を感じております。

国体での悔しさは国体でしか晴らすことができません。再び選手とともに一からスタートし、来年を目指します。最後に、運営に携わり支えてくださった全ての皆様方に心より御礼申し上げます。

◆鄭熙燮 (ボウリング男子選手)

1年間練習してきて、ラインを掴んだら投げられる自信もあったし、掴んだラインを引っ張っていく自信もあった。しかし、実戦では緊張のせいか親指のタイミングまでおかしくなり自分のボウリングがうまく出せなかったです。

しかし、3人戦と5人戦は、まさに互いに支えながらチームワークで逆転。銅メダルではありますが、私には感動のドラマの1シーンであり、人生で忘れられない強力な思い出ができました。

皆さん、本当にありがとうございました。

◆韓新悟 (ボウリング男子選手)

第100回韓国国体ソウル大会に出場することが出来たことを、顧問団、引率団の皆様をはじめ大会運営に携われた方々へ心より御礼申し上げます。そして何よりチームメイトへ感謝致します。今までに何度も国体に参加しましたが、今年が1番記憶に残る大会となりました。

メンバーにも恵まれ、最後まで諦めずに戦い、結果を残せました。金メダルを獲得することは出来ませんでしたが、チームメイトと共に歩んで得たものは金メダル以上のものでした。本当にありがとうございました。

◆姜直樹 (ボウリング男子選手)

国体に携わった多くの方々に感謝致します。

数年ぶりに国体に出場し、団体戦銅メダルを獲得した事が何より嬉しかったです。仲間達と過ごした貴重な経験を未来の選手たちへ引き継げるよう、今後は活動していこうと思います。

◆金賢淑 (ボウリング女子選手)

一年かけて準備し貴重な機会を下さった体育会やボウリング協会の方々に感謝申し上げます。

今回で4回目参加でしたが、いままでは運よく毎年金メダルを獲ってきましたが、今年こそ実力で金メダルを獲る為に自信を持って参加しましたが残念ながら銅メダルに終わってしまいました。

大会が始まる直前に女子キャプテンが不在となり、いろいろと複雑な心境もありましたが、銅メダルでも獲ったことを嬉しく思います。特に男子チームの団体戦で逆転の金メダルのような貴重な銅メダル本当に嬉しかったです。本当に貴重な時間ありがとうございました。

◆張裕子 (ボウリング女子選手)

100回大会という記念すべき大会に参加出来たことを大変嬉しく思います。

大会関係者の方々、ご支援頂いた方々に心より感謝申し上げます。

私は今回で二回目の参加でしたが、去年より目標としていた団体戦メダル獲得は残念ながら叶いませんでした。とても悔しい思いをしましたが、男子チームが団体戦で200点差を大逆転で銅メダル獲得したことにとっても勇気と力をもらいました。

自分に足りないものは何か？を改めて考え直し、また一年間、日々精進していく所存です。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

◆李裕海 (ボウリング女子選手)

私は今回の大会に参加したことによって、様々な事を感じ学ぶ事が出来、私自身が成長する期間になったと思います。あの独特な臨場感に打ち勝たねばならないメンタル、一緒に戦う仲間を思いやる気持ち、悔しさ、そして在外同胞の温かさ、これらは私にとって大きな勉強になりました。

このような機会を与えていただいた大会運営に携わる全ての方々、監督、マネージャー、ボウリングメンバーの皆様に感謝致します。今回の悔しさを糧に今後は今まで以上一生懸命に練習に励み、更に強くなった姿で皆さんとお会いしたいです。本当にお疲れ様でした！

◆韓 瞳 (ボウリング女子選手)

はじめに記念すべき100回目の国体に参加出来たことを本当に嬉しく思います。開会式がとても壮大で素晴らしく、感動しました。私は三度目の参加になりますが、今年こそは金メダルを獲得したいと思い、練習を重ねて、試合にのぞみましたが、惜しくも銅メダルでした。でも素晴らしい仲間達と一丸となって、プレイ出来たことは何者にも変えられない価値があり、感動のあるものでした。結果が金メダル獲得ではなかった部分だけが悔やまれますが、自分達の課題が見えたので、これからまた更なる練習に取り組みたいと思います。体育会関係者の皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

◆黄聖姫 (ボウリング女子選手)

100回目という記念すべき大会に参加できたことを幸せに思います。選手団本部や体育会の方々には大変お世話になり感謝の気持ちで一杯です。

皆さんの期待に添えるような成績は残せませんでしたが、選手一同必死で戦いました。素晴らしいチームを誇りに思い、またチームの一員でいられたことを嬉しく思います。

◆李信子 (卓球監督)

今年は第100回国体と言う記念すべき年であるので、目標は勿論金メダル獲得！でしたが、中国の参加選手は年齢も若く、技術力、精神力も高く、劣勢から優勢へと競り勝つ力を備えていました。

昨年 総合優勝したので2連覇を目指しましたが、一筋縄では行かず、女子シングル準優勝、男子シングル リーグ戦敗退、混合ダブルス3位と言う結果に終わりました。期待に応えられず申し訳ない気持ちで一杯です。日本において三世、四世の中から優秀な在日卓球選手を探すことは非常に困難な作業ではありますが、諦めず情報収集しながら、探そうと思います。ありがとうございました。

◆梁慶地 (卓球男子選手)

初めに今大会を支援、準備して下さった皆様にお礼申し上げます。

今大会の結果としては、シングル予選敗退、ダブルス3位と言う非常に残念な結果に終わってしまいました。感想として、海外同胞チームのレベルが高く驚きましたが、今後自分の目標をより一層高める必要があると思いました。今回の反省点を忘れずに克服し、来年は必ず優勝したいと思います。最後にこの様な機会を設けていただき本当にありがとうございました。

◆李 仙 (卓球女子選手)

今年もありがとうございました。

優勝を目指してはいましたが、力不足で準優勝で終わってしまいました。年々と体調管理が難しい中、精一杯頑張った結果だと自分は思ってます。しかし、声援してくださる皆さんには申し訳ありません。

皆さん、ありがとうございました！

◆韓成民 (テニス男子選手)

今年は在日本チームの目標である金メダル4つ、残念ながら取ることができませんでした。

100周年ということで役員の皆様や家族など期待された方々の気持ちを込めてコートで戦いました。しかし、思うような結果を達成することができませんでした。本当に悔しかったです。

今年起きた事をしっかりチーム内で共有し、来年こそは金メダル4つ取れるように一人一人が細かいところまで手をつけるようにして行きたいと思います。

◆尹榮湖 (テニス女子選手)

はじめに関係者の皆様ありがとうございました。100周年記念大会に呼んでいただき、出場することができて嬉しく思います。

私は今回が最後の大会なので気合いも入っておりましたが、優勝することはできませんでした。準優勝という結果で悔しくもありますが、すごく楽しく思い出深い大会になりました。

本当にありがとうございました。

◆永川琳久 (剣道選手)

私は初めての参加で、分からないことが多い中、自分のできることを精一杯行い、大会に臨みました。ですが、結果は初戦敗退ととても悔しい結果となってしまいました。勝ちきれなかった悔しさと同時に、自分自身の課題も感じることができました。次に向け、さらに精進していきたいと思います。

最後になりますが、今大会から剣道を正式競技にさせていただきよう、ご尽力いただいた関係者の皆様に心より感謝いたします。そして、本大会で大変お世話になった在日本大韓体育会の皆様、剣道会の孫京翼顧問、孫榮泰顧問、金文達会長に心より感謝いたします。

◆高橋忠志 (剣道選手)

私は3年ぶり4回目の出場でした。今までの大会と異なることは、過去3回の大会は体験競技でしたが、今回から正式競技となりました。しかし、結果はアメリカに初戦敗退となりました。第100回の歴史、そして正式競技となり1回目の大会。必ず結果を出さなければならないところでしたが、力及ばず、初戦敗退となってしまいました。今回の結果は大変悔しく、大失態だったと深く反省しております。今回の結果を真摯に受け止め、一年間稽古に励み、101回大会は必ずや金メダルを獲得します。

◆青山勝英 (剣道選手)

この度は第100回国民体育大会の剣道競技に参加させていただきました。

私は初めての出場でした。今回の結果を真摯に受け止め、一年間稽古に励み、101回大会は必ずや金メダルを獲得します。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

◆金明燮 (剣道選手)

この度は第100回国民体育大会の剣道で初めて参加させていただきました。

今回の大会から剣道が正式種目となり、更に多くのチームが集まりました。ですが惜しくも初戦でアメリカに負けてしまいました。審判のせいではなく、自分の実力不足でした。

今回の大会を糧にして今後の稽古に励み、次の101回の大会では必ず優勝したいと思いました。

孫京翼顧問、孫榮泰顧問、金文達会長、その他の在日本大韓体育会の方々に感謝申し上げます

◆慎未有 (サッカー監督)

今回、国体に初参加させていただきました。この期間、色んな人と出会いましたが、皆さん本当に良い人ばかりで感謝の気持ちでいっぱいです。優勝という形で恩返しできればよかったのですが、戦わずして敗退すると残念な結果で終わってしまい物凄く悔しいです。来年は必ず優勝してほしいと思っています。

◆金康太 (サッカー選手)

最初はなかなか息が合わなかったが、試合を重ねるにつれてチーム力が上がっていいチームになったと思います。しかし、優勝はできませんでした。でも、それ以上に仲間の大切さであったりチームが成長していく姿をみて、すぐ自分にとって良い経験になりました。このような偉大な大会に参加出来るのも民団の人達であったり寄付して下さった方がいらっしゃるからだと思います。ありがとうございました。これからもこの大会が続いてほしいと思います。

◆文泰樹 (サッカー選手)

結果は非常に残念ですが、今大会での体験は今後の自分を大きく変える経験に繋がると 생각합니다。各地の在日韓国人の仲間たちと交流し、素晴らしい指導者とめぐり合い、韓国という文化を改めて実感できました。この経験を元に、自分がこれから何をして、どうやって生きていきたいのかがはっきりしました。来年の大会も是非とも参加したいと思っています。今回逃した優勝を、来年こそはしっかりと勝ち取りたいです。

在日同胞選手団 各競技別 総合成績

海外同胞の部	総合準優勝		
	金メダル 5個	海外種目	金秀範(テコンド男子-80kg級) 姜智蓮(テコンド女子-49kg級) 姜智海(テコンド女子-67kg級) 徐華英(スカッシュ女子) 姜智賢・姜美咲(ゴルフ女子団体)
	銀メダル 6個	海外種目	尹栄湖・崔菜月(テニス女子ダブルス) 呉亨錫(ボウリング男子マスターズ) 金晴朗・田修成(ゴルフ男子団体) 李 仙(卓球女子個人) 姜享來(テコンド男子-68kg級) 金信優(テコンド男子+80kg級)
	銅メダル 12個	海外種目	成耀韓(テニス男子シングルス) 韓成民・成耀韓(テニス男子ダブルス) 崔菜月(テニス女子シングルス) 金賢淑・韓 瞳(ボウリング女子2人組) 宋在豪・鄭熙燮・呉亨錫(ボウリング男子3人組) 金賢淑・韓 瞳・黄聖姫(ボウリング女子3人組) 宋在豪・鄭熙燮・呉亨錫・ 金学均・姜直樹・韓新悟(ボウリング男子5人組) 田修成(ゴルフ男子個人) 姜智賢(ゴルフ女子個人) 梁慶地・李 仙(卓球混合ダブルス) 張大輝(テコンド男子-58kg級) 姜智蓮(テコンド女子-57kg級)

<海外同胞種目>

◆サッカー

種 目	成 績	出 場 選 手
海外同胞の部	—	
予選リーグ 第1戦	VS 在カナダ 3-0 勝	康胤二 文泰樹 文康新 康 翔 李英洙 沈修輔 金龍哉 金竜大 趙陽新 金康太 李明賢 金朝太 権天人 緑 悟 金昇毅
予選リーグ 第2戦	VS 在ドイツ 3-2 勝	金京勲 金太陽

◆テニス

男子シングルス	銅メダル	成耀韓
男子 ダブルス	銅メダル	韓成民・成耀韓
女子シングルス	銅メダル	崔菜月
女子 ダブルス	銀メダル	尹栄湖・崔菜月

◆卓 球

混合ダブルス	銅メダル	梁慶地・李 仙
男子シングルス	準々決勝敗退	梁慶地
女子シングルス	銀メダル	李 仙

◆ボウリング

男子個人戦	12位(729)	鄭熙燮
	14位(724)	吳亨錫
	32位(687)	宋在豪
	42位(647)	韓新悟
	56位(612)	姜直樹
	60位(602)	金学均
男子2人組戦	6位(1519)	鄭熙燮・吳亨錫 組
	8位(1490)	宋在豪・韓新悟 組
	23位(1353)	姜直樹・金学均 組
男子3人組戦	銅メダル(2325)	宋在豪・鄭熙燮・吳亨錫 組
	18位(1942)	金学均・姜直樹・韓新悟 組
男子5人組戦	銅メダル(3636)	宋在豪・鄭熙燮・吳亨錫 金学均・姜直樹・韓新悟
女子個人戦	18位(674)	金賢淑
	20位(669)	李裕海
	28位(642)	韓 瞳
	34位(623)	黃聖姬
	40位(607)	張裕子
女子2人組戦	銅メダル(1394)	金賢淑・韓 瞳 組
	20位(1175)	李裕海・張裕子 組
女子3人組戦	銅メダル(2056)	金賢淑・韓 瞳・黃聖姬 組
女子5人組戦	4位(3276)	金賢淑・李裕海・韓 瞳・黃聖姬・張裕子
男子マスターズ	銀メダル(2133)	吳亨錫

◆ゴルフ

男子団体戦	銀メダル	田修成・金晴朗 424(149/137/138)
男子個人戦	銅メダル	田修成 211(74/69/68)
	4位	金晴朗 213(75/68/70)
女子団体戦	金メダル	姜智賢・姜美咲 445(156/146/143)
女子個人戦	銅メダル	姜智賢 215(74/75/66)
	7位	姜美咲 230(82/71/77)

◆スカッシュ

男子シングルス	準々決勝敗退	李閒鏞
女子シングルス	金メダル	徐華瑛

◆テコンド

男子 -58kg級	銅メダル	張大輝
男子 -68kg級	銀メダル	姜享來
男子 -80kg級	金メダル	金秀範
男子 +80kg級	銀メダル	金信優
女子 -49kg級	金メダル	姜智奈
女子 -57kg級	銀メダル	姜智蓮
女子 -67kg級	金メダル	姜智海

◆剣 道

団体戦	VS 在米同胞 1-3 敗	高橋忠志 河文龍 徐琳久 許勝英 金明燮 金希妍
-----	------------------	-----------------------------

<国内種目>

◆柔 道

一般男子 -81Kg級	1回戦敗退	小川晟矢
大学女子 -70Kg級	1回戦敗退	梁智瑛

◆水 泳

高校男子 1500M 自由形	12位 16 ; 51,79	劉政頻
----------------	----------------	-----

◆ラグビー

一般男子	VS 高麗大学戦 48-38 勝	権英秀 李承記 柳紀行 金大毅 牛島英人 梁仁照 申賢志 金正太 蔡隆志 朴建榮 黄泰斗 李昇基 申永太 李翔太 白隆周
	VS 慶熙大学戦 34-26 勝	古田大晟 藤井延卓 沈祥健 高未来 金志大 高陽日 鄭幹太 金一徹 李 翔 國本茂孝



参加回数	国体回数	開催期間	開催都市	選手団長	総監督	獲得メダル数				総合順位	参加人数
						金	銀	銅	計		
1	30	1949.10.15～10.20	ソウル	蔡洙仁(東京)							3
2	34	1953.10.17～10.22	ソウル	鄭龍洙(東京)	金東春						25
3	35	1954.10.19～10.25	ソウル	金相吉(東京)	李仁燮						34
4	36	1955.10.15～10.21	ソウル	李能相(東京)	金莊煜						77
5	37	1956.10.03～10.09	ソウル	李能相(東京)	金東春					11位	132
6	38	1957.10.18～10.24	釜山	※不明							
7	39	1958.10.03～10.09	ソウル	※不明							
8	40	1959.10.03～10.09	ソウル	辛熙(東京)	李允求					10位	131
9	41	1960.10.10～10.16	大田	李裕天(東京)	金安守	2	1	0	3	10位	123
10	42	1961.10.11～10.15	ソウル	李允求(東京)	李錫儀	3	0	0	3	10位	96
11	43	1962.10.24～10.29	大邱	鄭建永(東京)	蔡洙仁	3	0	0	3	10位	142
12	44	1963.10.04～10.09	全州	金己哲(東京)	裴玉鉉	8	0	0	8	11位	173
13	45	1964.09.03～09.08	仁川	金普根(大阪)	李道述	1	0	1	2	12位	62
14	46	1965.10.05～10.10	光州	張基洙(東京)	金致淳	4	0	0	4	11位	160
15	47	1966.10.10～10.15	ソウル	鄭泰柱(福岡)	李奉男	2	0	0	2	11位	168
16	48	1967.10.05～10.10	ソウル	鄭泰柱(福岡)	金昌式	7	3	4	14	11位	142
17	49	1968.09.12～09.17	ソウル	姜宅佑(大阪)	曹祥鉉	3	2	2	7	12位	126
18	50	1969.10.28～11.02	ソウル	范填圭(東京)	金英宰	5	2	1	8	11位	108
19	51	1970.10.06～10.11	ソウル	范填圭(東京)	柳乙祚	1	3	4	8	10位	112
20	52	1971.10.08～10.13	ソウル	金振浩(大阪)	孫燾宇	4	5	2	11	12位	114
21	53	1972.10.06～10.11	ソウル	李俊明(北海道)	金致淳	3	6	2	11	11位	184
22	54	1973.10.12～10.17	釜山	朴源邦(東京)	安在成	4	5	8	17	11位	237
23	55	1974.10.08～10.13	ソウル	姜炳浚(大阪)	金性玉	5	3	4	12	11位	206
24	56	1975.10.07～10.12	大邱	蔡洙仁(東京)	丁海龍	2	1	5	8	11位	287
25	57	1976.10.12～10.17	釜山	朴鍾(山口)	全康夫	7	2	1	10	12位	157
26	58	1977.10.10～10.15	光州	朴成準(神奈川)	金仙吉	0	4	5	9	12位	102
27	59	1978.10.12～10.17	仁川	金仲浩(福岡)	丁海遊	0	1	2	3	12位	175
28	60	1979.10.12～10.17	大田	徐興讚(福岡)	洪性仁	1	4	4	9	12位	167
29	61	1980.10.08～10.13	全州	金琮斗(北海道)	池宗淵	0	0	3	3	14位	142
30	62	1981.10.10～10.15	ソウル	金仁鶴(北海道)	金聖大	1	2	3	6	11位	156
31	63	1982.10.14～10.19	馬山	許允道(東京)	洪武壬	2	4	1	7		176
32	64	1983.10.06～10.11	仁川	尹達鏞(東京)	金壽男	0	3	4	7		162
33	65	1984.10.11～10.16	大邱	崔漢洛(愛知)	金南守	1	0	1	2		176
34	66	1985.10.10～10.15	春川	柳雲行(山梨)	金辰圭	0	7	4	11		173
35	67	1986.10.20～10.25	ソウル・釜山・京畿道	朴鍾(山口)	姜壽一	7	6	4	17		174
36	68	1987.10.13～10.18	光州・全南	張斗會(大阪)	高錫棋	6	3	2	11	1位	185
37	69	1988.05.07～05.28	ソウル等分散	金昌式(東京)	高澤均	11	2	1	14		93
38	70	1989.09.26～10.01	水原・安養・烏山	金在學(愛知)	金順寶	5	3	3	11	1位	135
39	71	1990.10.15～10.21	忠北	朴正準(大阪)	宋武夫	2	2	1	5	1位	142
40	72	1991.10.07～10.13	全北	金時顕(大阪)	金順英	8	4	5	17	2位	166
41	73	1992.10.10～10.16	大邱	金仁鶴(北海道)	黄石道	2	2	3	7	2位	147
42	74	1993.10.11～10.17	光州	金在學(愛知)	宋基泰	8	3	7	18	1位	134
43	75	1994.10.27～11.02	大田	金英宰(大阪)	金奉坤	8	3	5	16	1位	130
44	76	1995.10.02～10.08	慶北	金在學(愛知)	金文化	5	6	7	18	2位	115
45	77	1996.10.07～10.13	江原道	権甲植(大阪)	鄭利光	6	4	1	11	2位	125
46	78	1997.10.08～10.14	慶南	崔萬斗(大阪)	河文洙	6	4	1	11	2位	143
47	79	1998.09.25～10.01	済州道	康忠男(大阪)	文京一	3	6	3	12	1位	177
48	80	1999.10.11～10.18	仁川	鄭進(長野)	金七福	2	6	3	11	1位	119
49	81	2000.10.12～10.18	釜山	金海經(奈良)	安有恒	7	8	5	20	1位	175
50	82	2001.10.10～10.16	忠南	盧光善(大阪)	金順英	6	3	7	16	1位	125
51	83	2002.11.09～11.15	済州道	金洪斤(神奈川)	金一波	3	5	6	14	2位	150
52	84	2003.10.10～10.16	全北	鄭進(長野)	姜玄哲	2	0	8	10	1位	176
53	85	2004.10.08～10.14	忠北	朴安淳(東京)	李鍾官	9	2	2	13	1位	171
54	86	2005.10.14～10.20	蔚山	金昭夫(東京)	韓龍化	5	3	2	10	1位	235
55	87	2006.10.17～10.23	慶北	南照男(東京)	金泰珍	11	7	5	23	1位	216
56	88	2007.10.08～10.14	光州	金順英(大阪)	趙靖芳	3	5	8	16	3位	205
57	89	2008.10.10～10.16	全南	羅基祖(東京)	姜玄哲	6	2	10	18	2位	151
58	90	2009.10.18～10.26	大田	柳箕桓(東京)	金泰珍	6	2	4	12	3位	177
59	91	2010.10.06～10.12	晋州	金昭夫(東京)	韓龍化	8	3	6	17	1位	251
60	92	2011.10.06～10.12	京畿道	金漢翊(大阪)	金一波	8	3	6	17	2位	151
61	93	2012.10.11～10.17	大邱広域市	千柄勝(東京)	李寿源	13	5	4	22	1位	189
62	94	2013.10.18～10.24	仁川広域市	鄭進(長野)	南圭吉	17	6	6	29	1位	170
63	95	2014.10.28～11.03	済州特別自治道	金炳鍾(大阪)	梁英守	14	5	5	24	1位	220
64	96	2015.10.16～10.22	江原道	朴平造(北海道)	千正己	10	4	6	20	1位	130
65	97	2016.10.07～10.13	忠清南道	李光馥(宮城)	尹源一	12	4	4	20	1位	125
66	98	2017.10.20～10.26	忠清北道	権五雄(滋賀)	権五仁	7	4	6	17	1位	153
67	99	2018.10.10～10.18	全羅北道	千憲司(東京)	成正幸	11	8	4	23	1位	147
68	100	2019.10.04～10.10	ソウル	呉公太(長野)	許孟道	5	6	12	23	2位	156

※38,39回大会は本会・大韓体育会ともに記録がないものの参加はしている

※87年度からの総合順位は海外同胞の部

参加回数	金	銀	銅	計	参加累計
68	311	197	223	731	9886